

GNU C Library

バージョン 2.3 以降で、文字コード変換の関数・コマンドの `iconv` で JIS X 0213 の符号化方式 (EUC-JISX0213, ISO-2022-JP-3, Shift JISX0213) をサポートしています。

使用方法

例えば、以下のようなコマンドで Shift JIS-2004 (Shift JISX0213) のテキスト `sjis.txt` を EUC-JIS-2004 (EUC-JISX0213) に変換して `euc.txt` に書き出すことができます。

```
% iconv -f Shift_JISX0213 -t EUC-JISX0213 sjis.txt > euc.txt
```

バージョン 2.3.6 では、2004 年改正の追加 10 文字もサポートしたようです。ただし符号化方式名は以前のままで、2004 年改正の "-2004" という名前になってはいないようです。

したがって、「Shift JISX0213」という名前で Shift JIS-2004 を、「EUC-JISX0213」という名前で EUC-JIS-2004 を指定します。

もちろん、UTF-8 や UTF-16 といった Unicode の符号化方式との間で変換することもできます。

【注：サポートし始めた正確なバージョンについてもしかすると誤りがあるかもしれません。JIS X 0213 に対応しているかどうかは `iconv` コマンドの `-l` オプションで確認できます。】

関連項目

- [iconv](#)
- [libiconv](#)